

“新入生のための” 最初に読む本

サポート
スタッフ企画
特集展示
2017spring

2F
ライティング
図書コーナー

新入生のみなさん、中央図書館へようこそ！

ライティング図書コーナーには、大学での学習・研究方法を知るのに役立つ本が集めてあります。

4・5・6月中は、中でも特に新入生のみなさんに読んでほしい本を、大学院生スタッフが厳選し、展示しています。講義の受け方やレポートの書き方など、わからなくて困ったら、まずはこの本をどうぞ！

学生生活全般

とりあえず広く浅く、大学生の学習生活を知りたい人へ。

向後千春

『18歳からの「大人の学び」基礎講座』

北大路書房，2016年。

377.15 | Ko

講義の受け方 # 読み方

情報整理 # 学習法

発想法 # 論理

講義の中で書かされたけど目的がイマイチ理解できなかった「マインドマップ」、先輩から指定された正体不明のオンラインストレージ「Dropbox」など、どうやら「大学では当たり前」らしいスキルやツールを広く浅く知ることができる本。情報整理・保存法を最初に知るとは、効率的に作業を進める役に立ちます。著者の専門は今話題のアドラー心理学！

佐藤望編著

『大学生のための知的技法入門
(アカデミック・スキルズ) 第2版』

慶應義塾大学出版会，2012年。

002.7 | Sa

教養 # 講義の受け方

情報収集 # 情報整理

批判的思考 # 学習法

大学での学習は、講義を聴き課題をこなすだけでは不十分。なのに先生たちはなかなか学び方を教えてくれません。この本を読むと、先生たちが「黙っていても学生が自発的にやってくれるはず／やるべきだ」と期待していることが何なのか、理解できるかもしれません。

学習・思考・情報探索

学び方, 情報の集め方や吟味の仕方, 考え方を知りたい人へ。

梅棹忠夫

『知的生産の技術』

岩波書店, 1969年.

002.7 | U

情報収集 # 情報整理

発想法 # 読み方

情報のオンライン管理が当たり前の時代になってもこの本が「定番」であり続けるのは、ただの情報カードの本ではないからです。何のために・どうやって記録するのか、なぜ記録の規格化が必要なのか、みなさんが自分自身の情報管理のルールを作るとき、知っておくべき原理がわかります。

エコ, U.

『論文作法』

谷口勇訳, 而立書房, 1991年.

801.6 | E

情報収集 # 情報整理

参考・引用 # マナー・作法

小説『薔薇の名前』でも有名な記号論学者エコによる指南書。

人文系の学生を主な読者に想定して書かれている点が特徴的です。

なぜ論文を書くのか、他者の研究を「参考にする」とはどういうことか、といった研究の姿勢に関わる部分を言葉を尽くして解説しているので、気持ちの問題でスムーズに執筆にとりかかれず悩んでいる方におすすめます。

澤田昭夫

『論文の書き方』

講談社, 1977年.

816.5 | Sa

批判的思考 # レトリック

読み方 # 話し方 # 情報収集 # 情報整理

このジャンルの本としては古典です。パソコンとネットの時代の感覚にはちょっと合わない部分もあるけれど、読み書きにかかわる基本的な技術に関して、今も十分通用するアドバイスが書かれています。特に他の参考書で扱われることが少ない「読み方」の解説が詳しいところがおすすめ。文献講読の授業で発表者になったとき、はずしちゃいけないポイントがわかります。

戸田山和久

『「科学的思考」のレッスン』

: 学校で教えてくれないサイエンス

NHK出版, 2011年.

404 | To

科学リテラシー # 思考法

論理 # 実験

どんな条件を満たせば「科学的」って言えるの? 「事実」って何? 考えたことをレポートに書いたり他人に説明したりする前に、自分がやっていること・言おうとしていることをもうちょっとメタに検討してみましょう。ネットで見かけたおかしい主張も、どこがなぜおかしいのか論理的に説明できるようになるかもしれません。

学習・思考・情報探索

学び方、情報の集め方や吟味の仕方、考え方を知りたい人へ。

野矢茂樹

『論理トレーニング』

産業図書, 2006年.

116 | N

論理 # 思考法

演習

みなさんが数学で学んできた「論理」を、実践の場で「論理的に考える」ことに結びつけてくれる本。

言語的説明が論理的だとかそうじゃないとか言うとき、判断の根拠になるルールは何なのか、練習問題を解きつつ学ぶことができます。

アカデミックコミュニケーション

自分の考えを、レポートやプレゼンの形で伝えるにはどうしたらいいのか知りたい人へ。

菊田千春・北林利治

『大学生のための論理的に書き、

プレゼンする技術』

東洋経済新報社, 2006年.

816.5 | Ki

プレゼン # レポート

書き方 # 情報収集

「はじめてのプレゼン！スライドの作り方とか以前に何から始めていいのかわかんない！」という人におすすめ。

レポートとプレゼンを比較しながら紹介している本なので、アカデミックな論証の作り方を学びつつ、それを表現する際に、表現の手段に合わせてどこをどう変える必要があるのか理解することができます。

酒井聡樹

『これからレポート・卒論を書く若者のために』

共立出版, 2007年.

816.5 | Sa

レポート # 書き方 # 主張

効率 # わかりやすさ

実例の豊富さが特徴。

良い例だけでなく悪い例も提示し、それを訂正することで適切な対応を示しているので、「なぜだかよくわからないけど良い評価がもらえない」と悩んでいる方におすすめです。

また、構成（もくじ）が体系的に組まれており、レポート作成の作業中に参照する場合、目的の場所をみつけやすくて便利です。

櫻田大造

『「優」をあげたくなる
答案・レポートの作成術』
講談社，2008年。

816.5 | Sa

講義の受け方 # 単位の取り方
試験 # レポート # 効率 # やる気

「あんまりがんばらずに、でもうまくやりたい」人のための本。そして「どうすればいいんだ？」より「なんのためにやらなきゃいけないんだ？」で悩んでいる人のための本。教員がレポートを評価する際に何を見ているのかもざっくり把握できるので、対策を立てて課題に臨むことができるでしょう。

佐渡島沙織・吉野亜矢子
『これから研究を書くひと
のためのガイドブック』
ひつじ書房，2008年。

816.5 | Sa

レポート # 書き方
演習 # 研究倫理

教科書として利用することを想定して構成されているため、論文・レポート執筆に必要な知識が一定のサイズのセクションに分割されていること、セクションごとに練習問題がついていることが特徴。

毎日分量を決め、参考書で勉強するように学習を進めたい方におすすめです。

身延庄士郎

『新版 理系のためのレポート・
論文完全ナビ』
講談社，2016年。

407 | Mi

レポート # 実験レポート
図表 # 書き方

レポートの中でも特に実験レポートの解説が充実した本です。

「わかりやすい」文章にもいろいろな種類がありますが、この本を読むと、レポートやその他の実務的文章に求められるタイプの「わかりやすさ」の条件を、表現と構造の両方から理解することができます。

“

ライティング図書コーナーの本
は貸出ができません。館外で利
用したい場合は、別の階に貸出
用が用意してあるので、
探してみてくださいね。

